

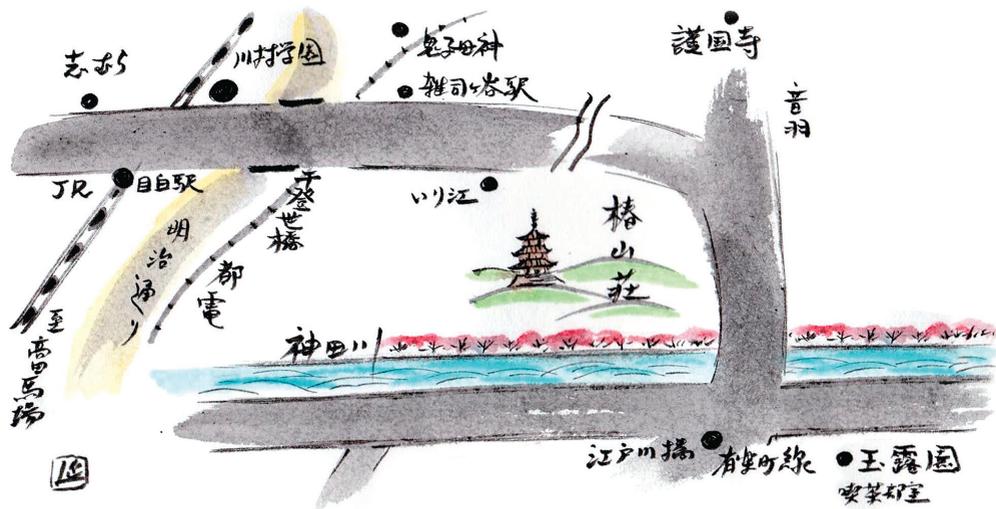
同窓生の お店を訪ねて

vol.07



目白散策編

志むら



(挿絵) 川村学園女子大学
名誉教授 荻原 延元

嫁いで31年になります。最初の仕事は千歳飴を紙に包む作業でした。出来立てのさらし飴はほのかな甘い香りに似つかわしくないくらい熱かったのを覚えています。飴やジャムなど使用している材料は全て店内で手作りしています。

志村 友子(能美)高校 49期

15年程前より山梨県から天然水を取り寄せ、静岡県の契約農家から届く苺でジャムを作りたっぷりかけています。



59期武山家では夏のイベントのひとつとして家族揃って志むらのカキ氷を食べるのが慣わしだそうです。

